

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2025年 4月28日

大分県知事 殿



提出者 株式会社ジェイエイフーズおおいた
住 所 大分県杵築市大字本庄1453番地の1
氏 名 代表取締役社長 大塚 修司
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0978-62-6500

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ジェイエイフーズおおいた
事業場の所在地	大分県杵築市大字本庄1453番地の1
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	飲料製造業 (1011)
② 事業の規模	資本金 493,000,000円
③ 従業員数	148人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図) 別紙2のとおり		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（2024年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙3-1
	排出量	別紙3-1
	(これまでに実施した取組) ・ 食物残渣および汚泥は脱水処理を実施。	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙3-1
	排出量	別紙3-1
	(今後実施する予定の取組) ・ 食物残渣および汚泥の脱水率を向上させる。	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 発生毎に分別し、一時保管場所の区分を明確化している。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 現状を周知徹底する。	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	食物残渣	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1,630 t	312 t
	(これまでに実施した取組) 食物残渣及び汚泥の脱水後に堆肥化。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	食物残渣	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2,450 t	380 t
	(今後実施する予定の取組) ・昨年度に引き続き食物残渣及び汚泥脱水の含水率の低減に努めるが、果皮搾汁計画の変動により増減する。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3-1	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3-1	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3-1	---
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) ---		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3-1	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ---		

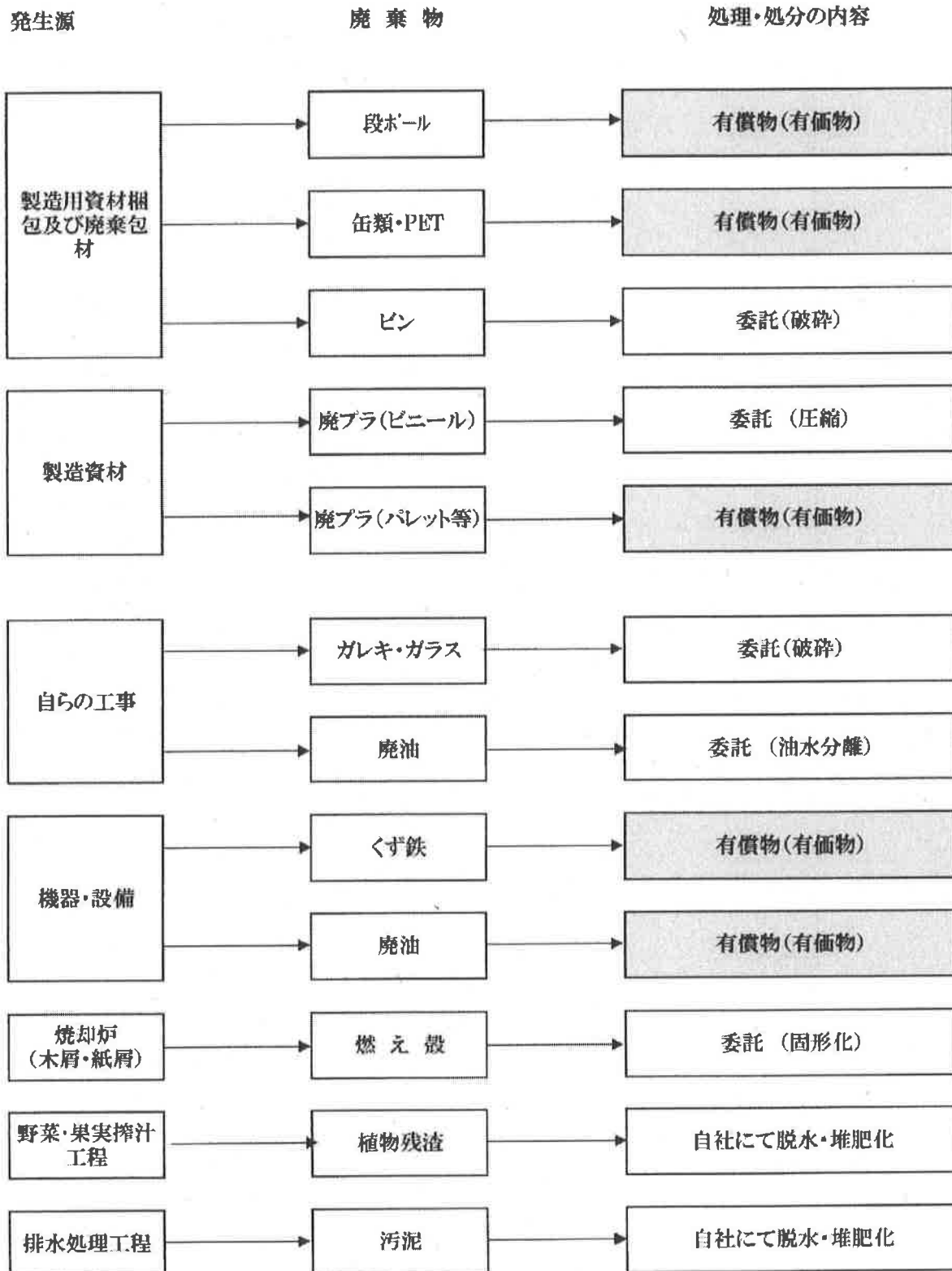
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3-1	
	全処理委託量	別紙3-1	
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙3-1	— t
	再生利月業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 委託先の現場視察。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3-1	—
	全処理委託量	別紙3-1	— t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙3-1	— t
	再生利用業者への 処理委託量		— t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 委託先の現場視察。		
※事務処理欄			

廃棄物処理フロー図

④2025年度 産業廃棄物の一連の処理工程



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(1) 2025年度 管理体制及び役割

名 称	氏 名	内 容
統括管理責任者	代表取締役社長 大塚 修司	①廃棄物の処理に関する統括・報告・承認・予算の抽出
廃棄物企画推進者	取締役管理部長 田中 篤史	①廃棄物処理計画の策定 ②発生抑制、再生、中間処理の推進と適正処理および運営管理に必要な事項の検討 契約内容の確認 有効期限・変更内容の確認
廃棄物担当者	(正) 施設課長 山田 正行 (副) 施設課長代理 北野 透	①廃棄物処理計画の作成 ②廃棄物の管理状況把握と改善策検討 ③中間処理・最終処分業者の選定と委託 契約の実施、管理 有効期限 変更内容確認 ④マニフェスト票の交付と管理 ⑤監督官庁への各種報告書の作成 ⑥社員への廃棄物に関する指導・教育の実施

(2) 管理体制の強化

①管理体制

工場内の各部署と協力し、廃棄物処理に関する組織の編成を強化する。

(3) 方法

①発生する廃棄物の種類、発生状況、処理方法、処理に関する留意事項を整理し
企業全体で発生抑制に努める。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

2025年度処理計画 (目標)

目標)	2024年度 排出量 (実績)	①2025年度 発生量目標	②自己直 接再生利 用量	③自己直 接埋立て 処分又は 海洋投入 量	④自己中 間処理量	⑤の内熱 回収した 量	⑥自己中 間処理残 さ量	⑦自ら中 間処理に より減量し た量	⑧自己中 間処理後 再生利用 量	⑨自己中 間処理後 直接埋立 て処分又 は海洋投 入量	全処理委託量				⑪の内熱 回収認定 業者以外 業者への熱回 収業者へ の処理委 託量		
											⑩直接及 び自ら中 間処理し た後の処 理委託量	⑪の内熱 回収認定 業者への 委託量	⑫の内再 生利用業 者への処 理委託量	⑬の内熱 回収業者 への処理 委託量			
食物残渣	搾汁粕	1,630.00	2,450.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
汚泥	汚泥	312.00	380.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
焼アスチック	焼アラ	19.00	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	19.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
燃え殻	焼却灰	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ガラス屑/ガレキ	ガレキ・ガラス	2.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
廃油	廃油(ベンキ類)	0.00	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
廃酸	廃酸(基準値外 有害物質含む)	0.04	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
廃油	廃油(基準値外 有害物質含む)	0.060	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
PCB汚染物	絶縁油トランス	0.000	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
動・食物残渣	生原料	27.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計		1,993.10	2,856.55	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	22.10	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

単位: t